

まちづくりの目標 6

人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり

(地球環境・生活環境・上下水道)

次に、まちづくりの目標 6「人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり」について申し上げます。

まず、**環境保全及び循環型社会の実現**につきましては、産業部門も含めた市域全体のカーボンニュートラルに向けたグランドデザインとロードマップを提示し、温室効果ガスの排出削減を総合的かつ計画的に進め、脱炭素社会の実現を目指し、「**にいはま環境プラン**」を改定するとともに、「**新居浜市地球温暖化対策地域計画**」及び「**エコアクションプランにいはま**」の見直しを行います。また、道路灯等の屋外照明灯のLED化をESCO事業により実施いたします。

さらに、**ごみ減量・資源化促進**といたしまして、ごみ有料化による効果と合わせ、スーパー、リユース事業者、資源回収事業者との連携による「**にいはま3Rネットワーク**」を活かした民間ルートの「見える化」を図り、プラスチック製品を含めたプラスチックごみの更なる資源循環により、民間資源化ルートの調査研究などに取り組んでまいります。

加えて、現在稼働している清掃センターについては、令和14年度までの供用を目標としており、現在調査を実施しております、東予東部ごみ処理広域化・集約化の実現可能性調査の結果を踏まえ、引き続き施設の集約化について検討を進めてまいります。

また、公共用水域の水質保全のため、生活排水対策といたしまして、公共下水道整備区域外の汲み取り便槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を一層促進してまいります。

次に、**上下水道事業の推進**につきましては、事業経営にあたり、経営戦略や更新計画に基づき、効果・効率的な事業運営の推進を図り、将来にわたって安定的なサービスの提供ができるよう、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

また、公共下水道の普及促進に関しましては、未接続の家庭への訪問等により、公共下水道への接続促し、水洗化率の向上に努めてまいります。